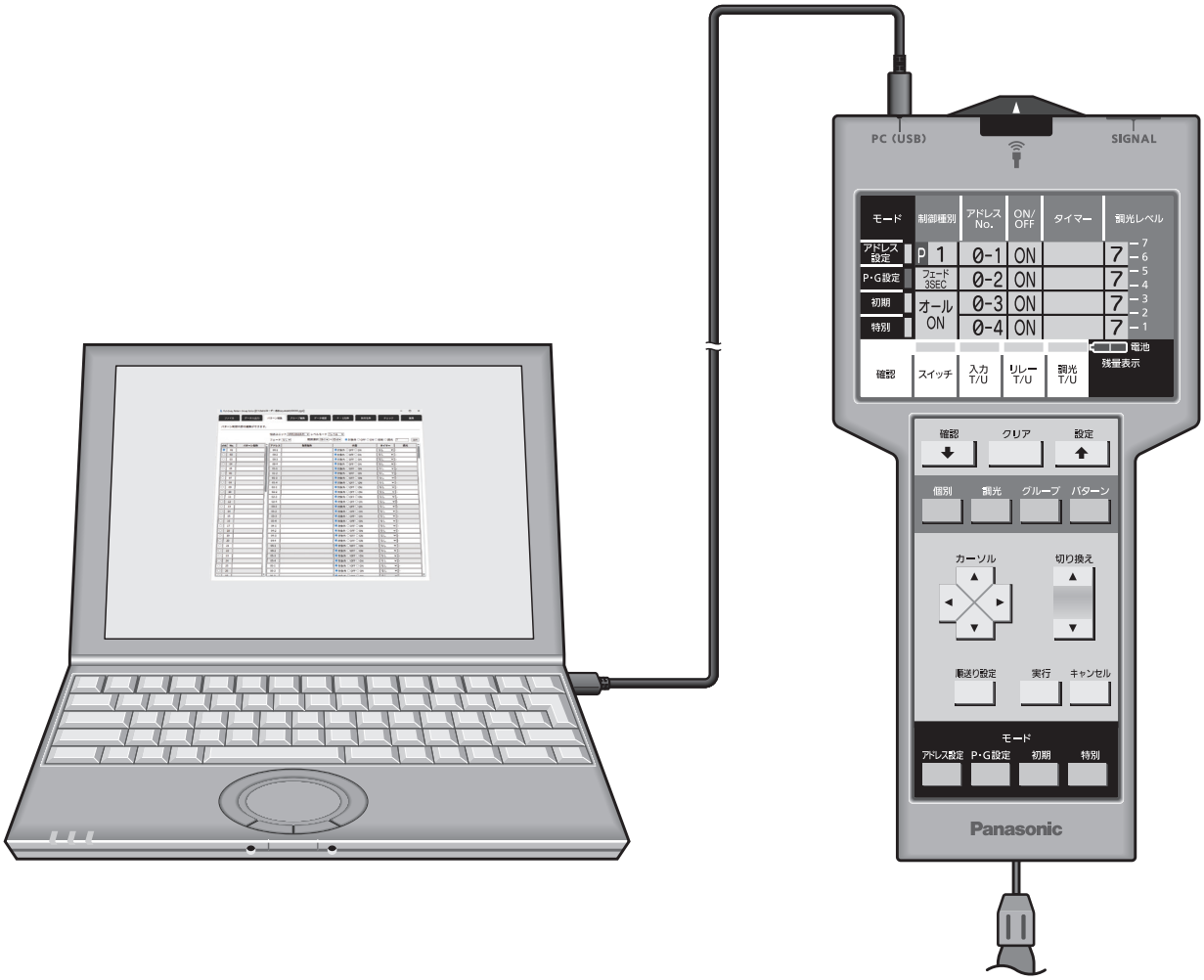
Panasonic

フル2線式リモコン
パターン・グループ設定器Plus用専用アプリ

Full-2way Pattern Group Editor

操作マニュアル



もくじ

はじめに …… **3**

アプリのインストール方法 …… **4〜5**

パソコンと設定器の接続方法 …… **6〜7**

パソコンと設定器の接続を切断する場合 …… 7

アプリの概要 …… **8〜9**

保存・編集データの仕様に関して …… 9

ファイル画面の操作 …… **10〜14**

新規作成 …… 10

ファイルを開く …… 11

上書き保存 …… 12

別名保存 …… 13

帳票出力(P・G設定用)、帳票出力(負荷名称用) …… 14

データ入出力画面の操作 …… **15〜16**

設定器からパソコンへ入力 …… 15

パソコンから設定器へ出力 …… 16

パターン編集画面の操作 …… **17〜19**

パターン制御内容の編集 …… 17

選択したアドレス範囲の「制御内容」「調光レベル」を一括で編集する …… 18

伝送ユニット、レベルモードの設定を変更する …… 19

グループ編集画面の操作 …… **20〜22**

グループ制御内容の編集 …… 20

選択したアドレス範囲の「制御内容」を一括で編集する …… 21

伝送ユニットの設定を変更する …… 22

データ確認画面の操作 …… **23**

パターン・グループ制御内容の確認 …… 23

P・G名称画面の操作 …… **24**

パターン・グループ制御内容の名称入力 …… 24

負荷名称画面の操作 …… **25**

各種名称の編集 …… 25

チェック画面の操作 …… **26〜27**

端末登録P・G表示 …… 26

空きP・G表示 …… 27

編集画面の操作 …… **28〜29**

コピー …… 28

オール消去 …… 29

商標について …… **裏表紙**

はじめに

本アプリは、フル2線式リモコン パターン・グループ設定器Plusの設定データの編集などを可能にする
パソコン用ツールです。

おもな機能

機能1：設定器とのパターン・グループ制御内容の入出力

- 設定器内のパターン・グループ制御内容を本アプリに入力できます。
- 本アプリ内のパターン・グループ制御内容を設定器へ出力できます。

機能2：パターン・グループ制御内容の編集

- 本アプリでパターン・グループ制御内容の編集ができます。

機能3：ファイルの入出力

- パターン・グループ制御内容をファイルとしてパソコンに保存できます。
- パソコンに保存されているパターン・グループ制御内容のファイルを本アプリに読み出しできます。

対応OS

- Windows 11

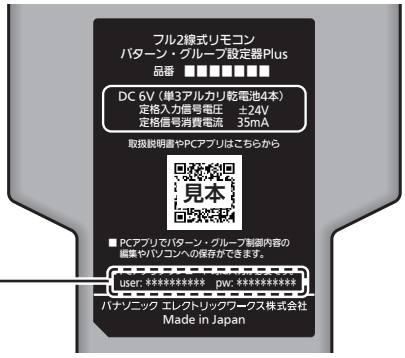
アプリのインストール方法

下記の手順でアプリをインストールしてください。

1 当社ホームページよりアプリのインストーラーをダウンロードする

→https://www2.panasonic.biz/jp/densetsu/bs/lighting_control/full2/lineup/setting-plus/

●ダウンロードの際、設定器裏面の銘板に記載の「user」「pw」の入力が必要です。



設定器裏面

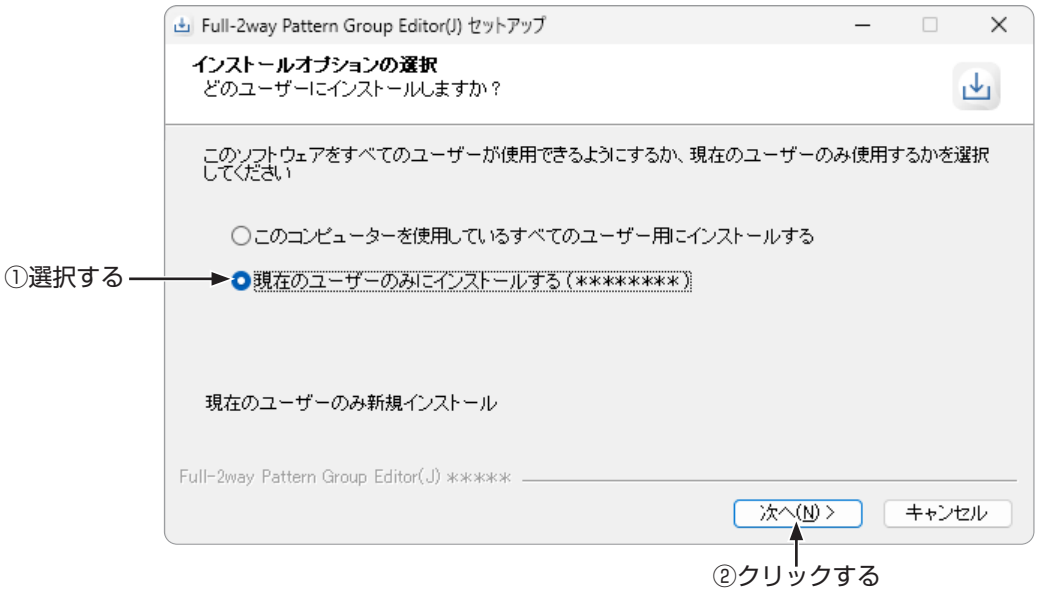
2 ダウンロードしたインストーラーを起動する



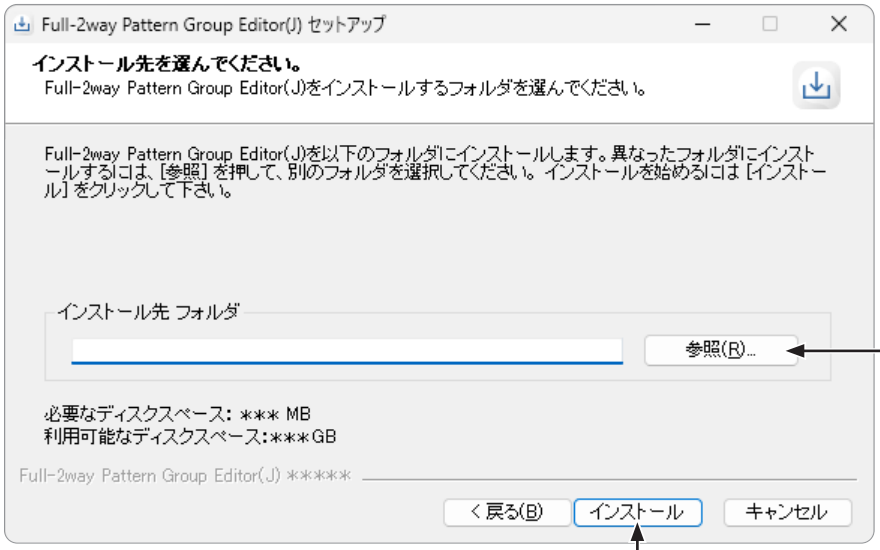
をダブルクリックする

●アプリのインストール画面が表示されます。

3 「現在のユーザーのみにインストールする」を選択し、「次へ」をクリックする



4 「参照」をクリックしてインストール先のフォルダを選択し、「インストール」をクリックする



①選択する

②クリックする

●インストールが開始されます。
（しばらくお待ちください。）

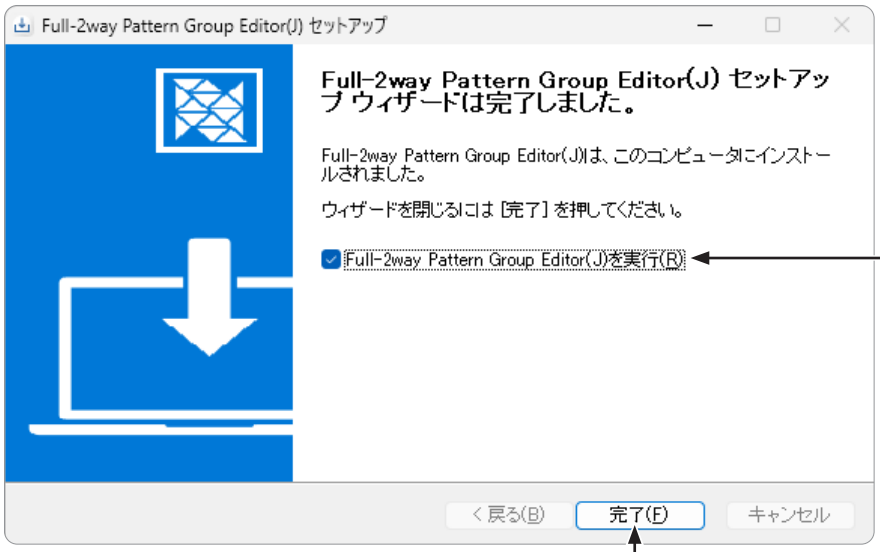
5 インストールが完了すると



本アプリ(Full-2way Pattern Group Editor)の
ショートカットがデスクトップに作成され、

完了画面が表示されます。

●「完了」をクリックして、画面を閉じてください。



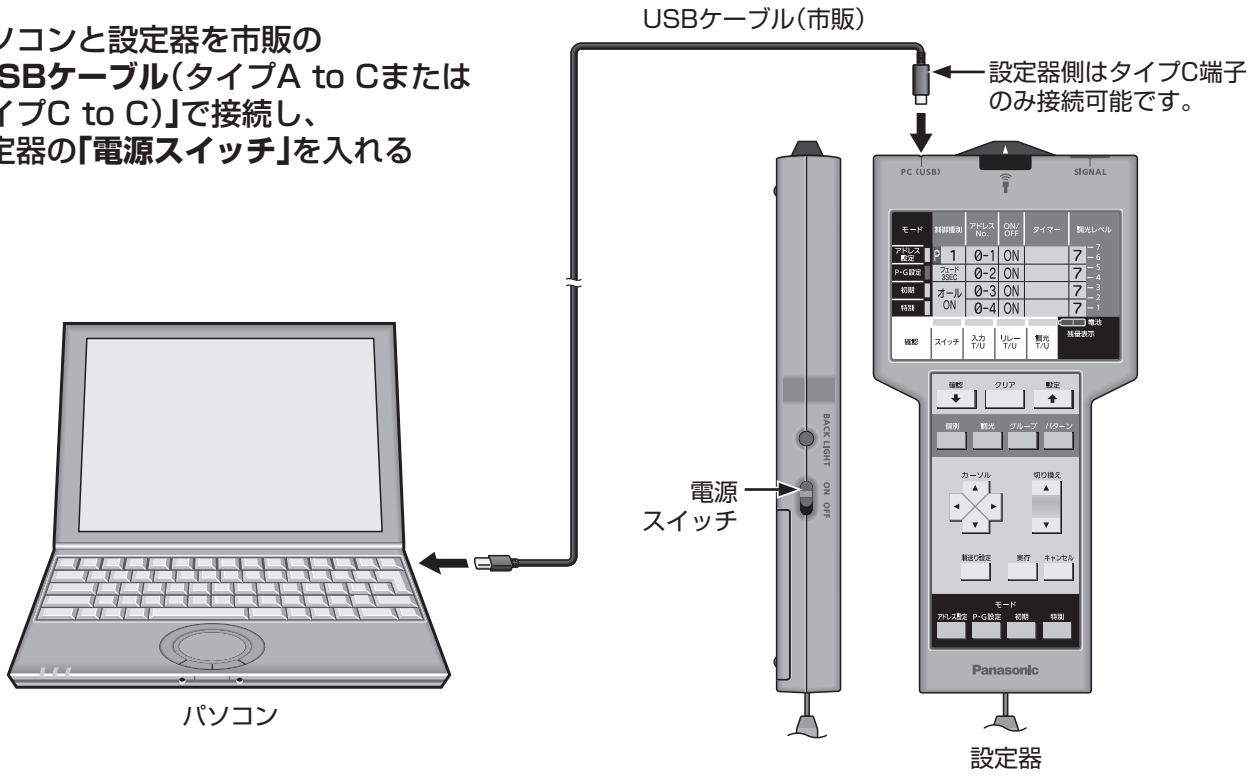
●チェックすると、
完了後、
アプリが起動
します。

クリックする

パソコンと設定器の接続方法

下記の手順でパソコンと設定器を接続してください。
※パソコンと設定器間で設定データの入出力を行わない場合は、接続不要です。

1 パソコンと設定器を市販の「USBケーブル(タイプA to CまたはタイプC to C)」で接続し、設定器の「電源スイッチ」を入れる

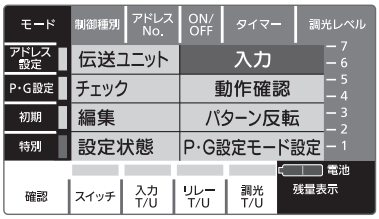


2 設定器のモードを「特別設定」にする



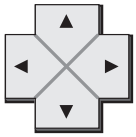
を押す

●液晶パネルは「特別設定」モードの初期画面が表示されます。



3 設定状態の項目を「PC接続」にする

カーソル



キーで“設定状態”を選択する

伝送ユニット	入力
チェック	動作確認
編集	パターン反転
設定状態	P·G設定モード設定

切り換え



キーで“PC接続”に切り換える

伝送ユニット	入力
チェック	動作確認
編集	パターン反転
設定状態	PC接続

実行

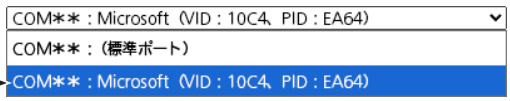


キーを押す
(設定器側の準備が完了)

■PC接続■
▶▶ 待機中 ▶▶
中止▶キャンセル

4 本アプリを起動し、「データ入出力」をクリックする

5 接続した設定器の「COMポート」を選択する



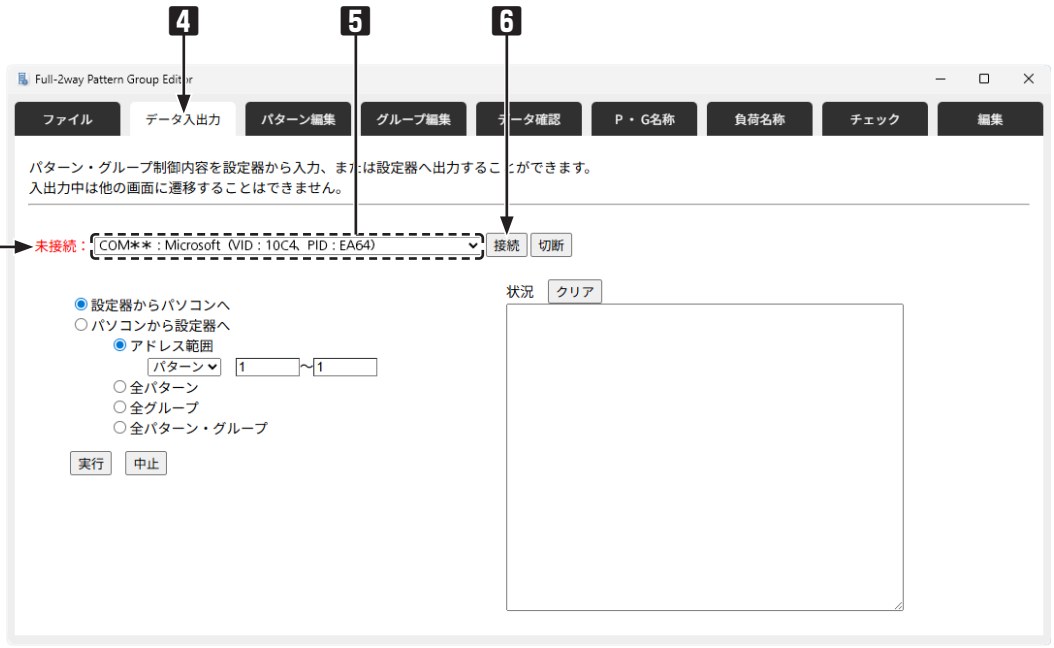
●「COM＊＊：Microsoft（VID：10C4、PID：EA64）」を選択してください。

●パソコンとデータの入出力を行う端末のみ接続してください。複数の端末を同時に接続すると、「COM＊＊：Microsoft（VID：10C4、PID：EA64）」が複数表示され、誤接続の原因となります。

6 「接続」をクリックする

（パソコンと設定器が接続されます。）

●接続が完了すると、パソコンと設定器でパターン・グループ制御内容の入出力が行えます。（p15～p16参照）



●パソコンと設定器が接続されると、表示が「接続」に変わります。

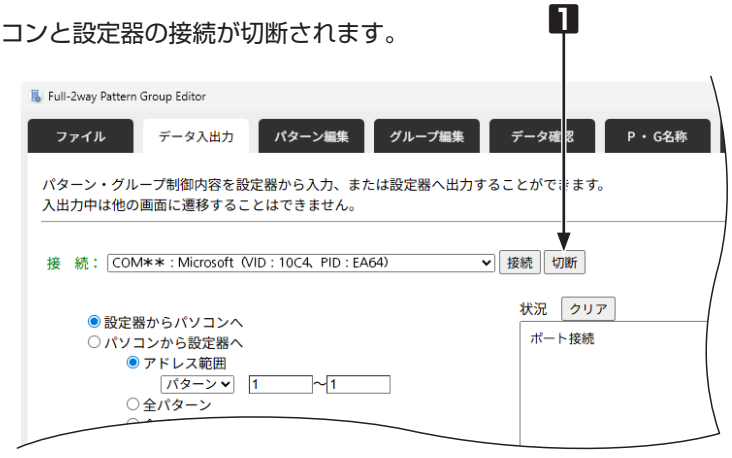
データ入出力画面

パソコンと設定器の接続を切断する場合

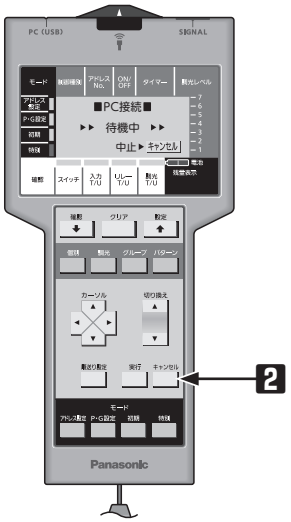
1 アプリのデータ入出力画面で「切断」をクリックする

2 設定器の「キャンセル」を押す

●パソコンと設定器の接続が切断されます。



データ入出力画面



設定器

アプリの概要

本アプリ上部のタブをクリックすると、画面が切り替わります。操作したい機能に合わせてタブを選択してください。



●アプリ起動時の場合
（ファイル画面）



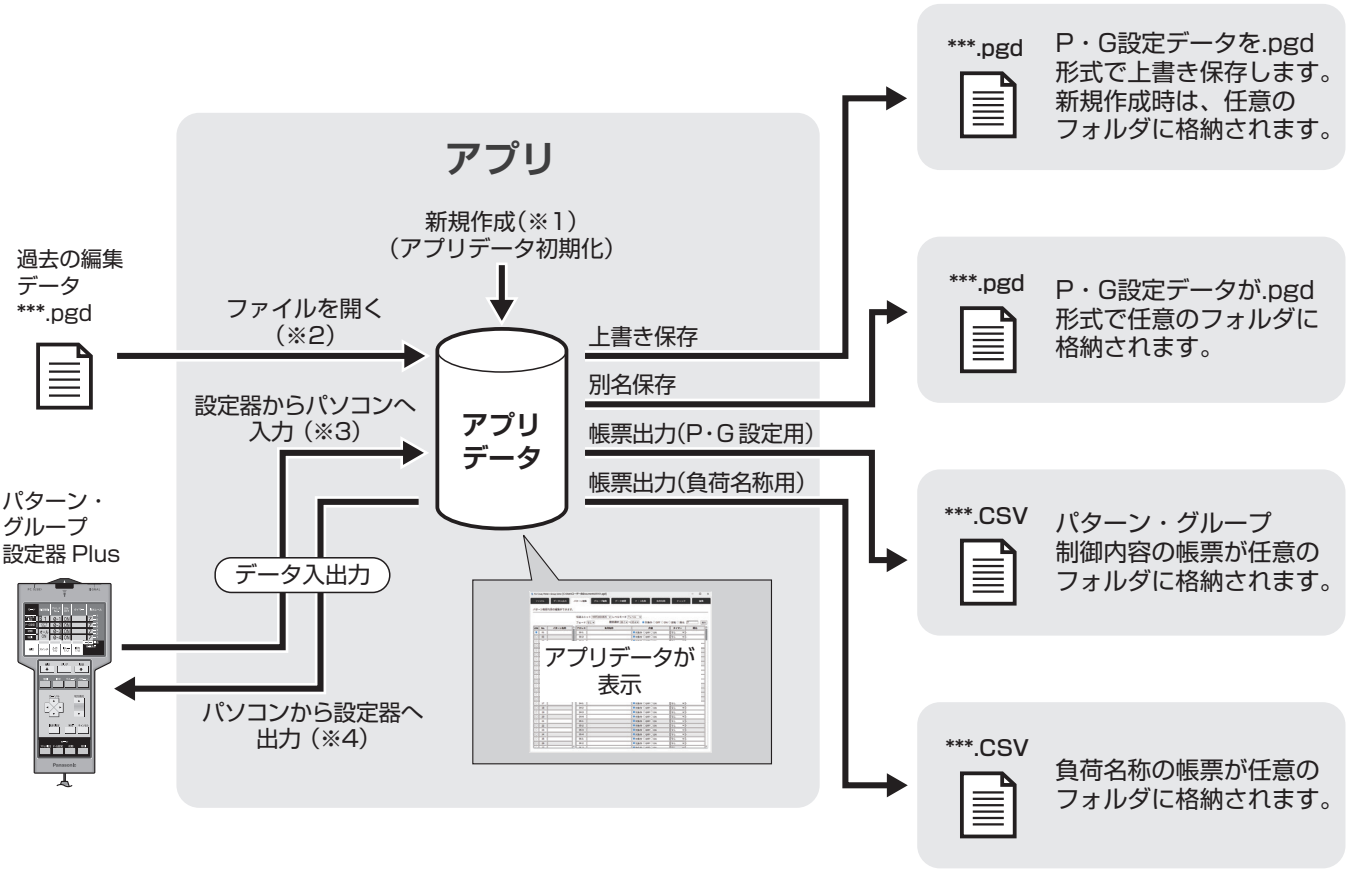
●パターン編集タブをクリックした場合
（パターン編集画面）

画　面	機能項目	内　容	ページ
ファイル画面	新規作成	編集するパターン・グループ制御内容を新規で作成します。 作成時、下記の設定を行います。 ・**件名名称の入力**：パターン・グループ制御内容の件名を入力 ・**伝送ユニットの設定**：接続する伝送ユニットの種類を選択 ・**レベルモードの設定**：調光レベルの分解能(7レベル／128レベル)を選択	10
	ファイルを開く	編集するパターン・グループ制御内容のファイルを選択して読み出します。	11
	上書き保存	編集したパターン・グループ制御内容を上書き保存します。	12
	別名保存	編集したパターン・グループ制御内容を保存先を指定して、別名保存します。	13
	帳票出力(P・G設定用)	編集したパターン・グループ制御内容を帳票用ファイル(CSV)で出力できます。	14
	帳票出力(負荷名称用)	編集した負荷名称を帳票用ファイル(CSV)で出力できます。	14
データ入出力画面	設定器からパソコンへ入力	設定器からパターン・グループ制御内容を本アプリに入力します。	15
	パソコンから設定器へ出力	本アプリのパターン・グループ制御内容を設定器へ出力します。	16
パターン編集画面	パターン制御内容の編集	パターン制御内容を編集します。	17
グループ編集画面	グループ制御内容の編集	グループ制御内容を編集します。	20
データ確認画面	パターン・グループ制御内容の確認	パターン・グループ番号ごとの制御内容の選択状態を一覧で確認できます。	23
P・G名称画面	パターン・グループ制御内容の名称入力	パターン・グループ番号ごとに名称を入力できます。	24
負荷名称画面	各種名称の編集	アドレスごとに盤名称、負荷名称、ブレーカ番号、リレー番号、備考を入力できます。	25
チェック画面	端末登録P・G表示	端末器がどのパターン・グループ番号に登録されているかを一覧で確認できます。	26
	空きP・G表示	使用していないパターン・グループ番号を一覧で確認できます。	27
編集画面	コピー	パターン・グループ制御内容をほかのパターン・グループにコピーできます。	28
	オール消去	消去する範囲を選択し、その制御内容をまとめて消去できます。	29

保存・編集データの仕様に関して

アプリ上で編集しているデータは“アプリデータ”に格納されており、アプリを閉じると削除されます。

編集しているデータの保存が必要であれば、必ず「上書き保存」「別名保存」から編集データ(***.pgdファイル)を作成(保存)してください。(p12～p13参照)



※1：「新規作成」(p10参照)すると、編集中のアプリデータは初期化されます。

※2：「ファイルを開く」(p11参照)で過去の編集データを開くと、アプリデータに編集データが格納され、アプリ上のデータを編集します。(編集データ(***.pgd)を直接編集しません。)

※3：「設定器からパソコンへ入力」(p15参照)を実行すると、アプリデータに設定器の設定データが格納されます。

※4：「パソコンから設定器へ出力」(p16参照)を実行すると、アプリデータの設定データを設定器へ転送します。
転送されるデータはパターン・グループ設定のみで、各種名称情報(件名名称やP・G名称 など)は設定器に保存されません。各種名称情報を含むパターン・グループ設定は編集データ(***.pgd)で管理してください。

ファイル画面の操作

新規作成

編集するパターン・グループ制御内容を新規で作成します。

1 「新規作成」を選択する

2 「件名名称」を入力する

●最大20文字まで入力できます。

●以下の半角記号は入力できません。
/ : * ? " > < | ¥ ,

●新規作成後も変更可能です。（変更したときは、保存してください。p12～p13参照）

3 「伝送ユニット」の設定をする

●接続する伝送ユニットの種類（WRT2050系列／WRT2000K系列／WR3212系列）を選択してください。

新規作成後は、パターン編集・グループ編集画面で変更可能です。（p19、p22参照）

4 「レベルモード」の設定をする

●調光レベルの分解能（7レベル／128レベル）を選択してください。

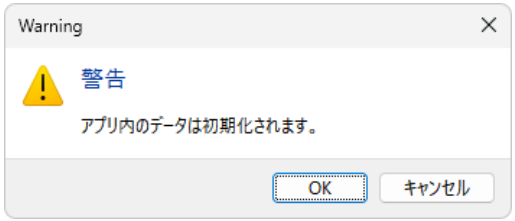
●レベルモードは、伝送ユニットの設定がWRT2050系列の場合に選択できます。
●新規作成後は、パターン編集画面で変更可能です。（p19参照）

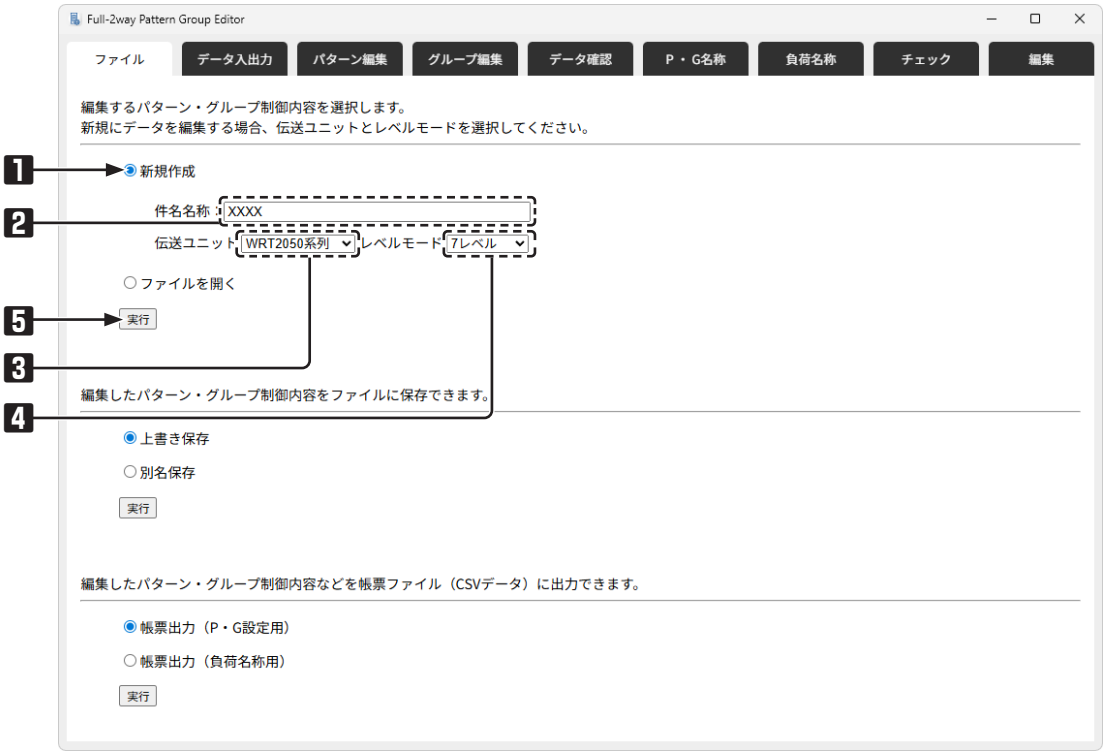
5 「実行」をクリックする

●新規作成をするために、現在編集中の内容を削除してよいか、確認のポップアップが表示されます。
必要な場合は「キャンセル」をクリックし、保存してから再度、本操作をしてください。（p12～p13参照）

●「OK」をクリックすると、新規作成用のデータが作成されます。

●引き続きパターン編集画面やグループ編集画面などに切り替え、パターン・グループ制御内容の編集を行ってください。（p17～p29参照）





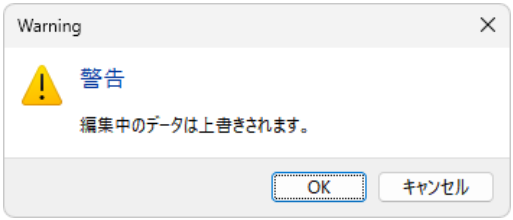
ファイルを開く

編集するパターン・グループ制御内容のファイルを選択して読み出します。

1 「ファイルを開く」を選択する

2 「実行」をクリックする

●ファイルを読み出すために、現在編集中の内容を削除してよいか、確認のポップアップが表示されます。
必要な場合は「キャンセル」をクリックし、保存してから再度、本操作をしてください。（p12～p13参照）
●「OK」をクリックすると、ファイル選択用の画面が表示されます。





3 読み出すファイルを選択し、「開く」をクリックする（ファイル形式：***.pgd）

●ファイルが読み出されると、設定されている「件名名称」が表示されます。
また、タイトルバーに読み出したファイルの格納場所が表示されます。

読み出したファイルの伝送ユニットやレベルモードの設定はパターン編集画面やグループ編集画面で確認・変更可能です。（p19、p22参照）

●引き続きパターン編集画面やグループ編集画面などに切り替え、パターン・グループ制御内容の編集を行ってください。（p17～p29参照）



ファイル画面の操作

上書き保存

編集したパターン・グループ制御内容を上書き保存します。

1 「上書き保存」を選択する

2 「実行」をクリックする

●タイトルバーに表示された格納場所のファイルが上書き保存され、完了を知らせるポップアップが表示されます。
●タイトルバーに格納場所が表示されていない場合(新規作成時)は、「別名保存」と同様、別名保存用の画面が表示されます。(「別名保存」の3を参照して保存してください。(p13参照))



別名保存

編集したパターン・グループ制御内容を保存先を指定して、別名保存します。

1 「別名保存」を選択する

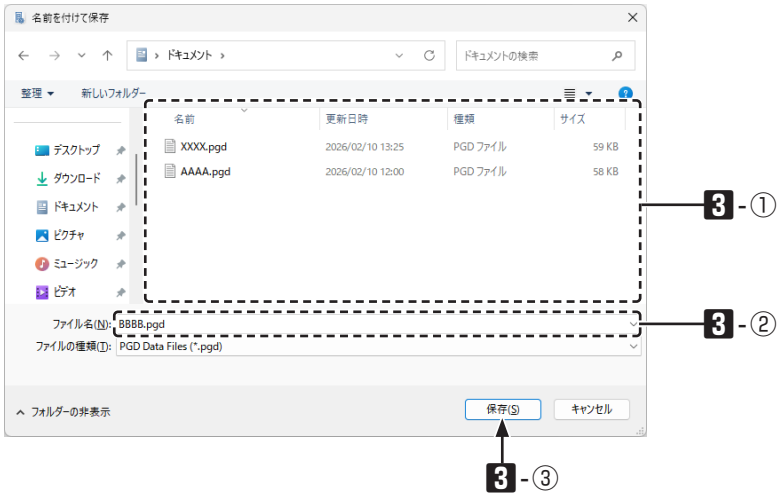
2 「実行」をクリックする

●別名保存用の画面が表示されます。



3 保存先を指定して、「ファイル名」を入力し、「保存」をクリックする

●「保存」をクリックすると、指定した保存先に、入力したファイル名で編集データ(***.pgd)が保存されます。



ファイル画面の操作

帳票出力(P・G設定用)、帳票出力(負荷名称用)

編集したパターン・グループ制御内容や負荷名称を帳票用ファイル(CSV)で出力できます。

1 出力したい帳票を選択する

●帳票出力(P・G設定用)／帳票出力(負荷名称用)のいずれかを選択してください。

- 帳票出力(P・G設定用)：パターン・グループ制御内容の帳票を出力できます。
- 帳票出力(負荷名称用)：負荷名称の帳票を出力できます。

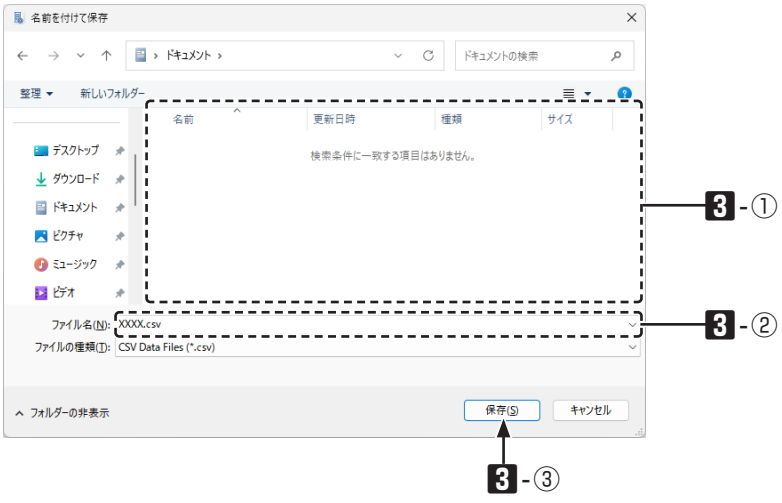
2 「実行」をクリックする

●帳票出力用の画面が表示されます。



3 保存先を指定して、「ファイル名」を入力し、「保存」をクリックする

●「保存」をクリックすると、指定した保存先に、入力したファイル名で帳票用ファイル(CSV)が保存されます。



データ入出力画面の操作

設定器からパソコンへ入力

設定器からパターン・グループ制御内容を本アプリに入力します。

●事前にパソコンと設定器を接続してください。(p6～p7参照)
●入力されると現在編集中の内容が上書きされます。必要な場合は保存してから再度、本操作をしてください。(p12～p13参照)

1 「設定器からパソコンへ」を選択する

2 入力したい制御内容の範囲を選択する

●アドレス範囲／全パターン／全グループ／全パターン・グループのいずれかを選択してください。
●アドレス範囲を選択した場合は、3に進んでください。
●全パターン／全グループ／全パターン・グループを選択した場合は、5に進んでください。

3 アドレス範囲を選択した場合は、入力したい種別を選択する

●パターン／グループのいずれかを選択してください。

4 アドレス範囲を選択した場合は、入力したい範囲(先頭パターン・グループ番号と最終パターン・グループ番号)を入力する

●入力できる番号の範囲は種別により異なります。
- パターン：1～72
- グループ：1～127

●入力ボックスを選択すると▲▼マークが表示します。

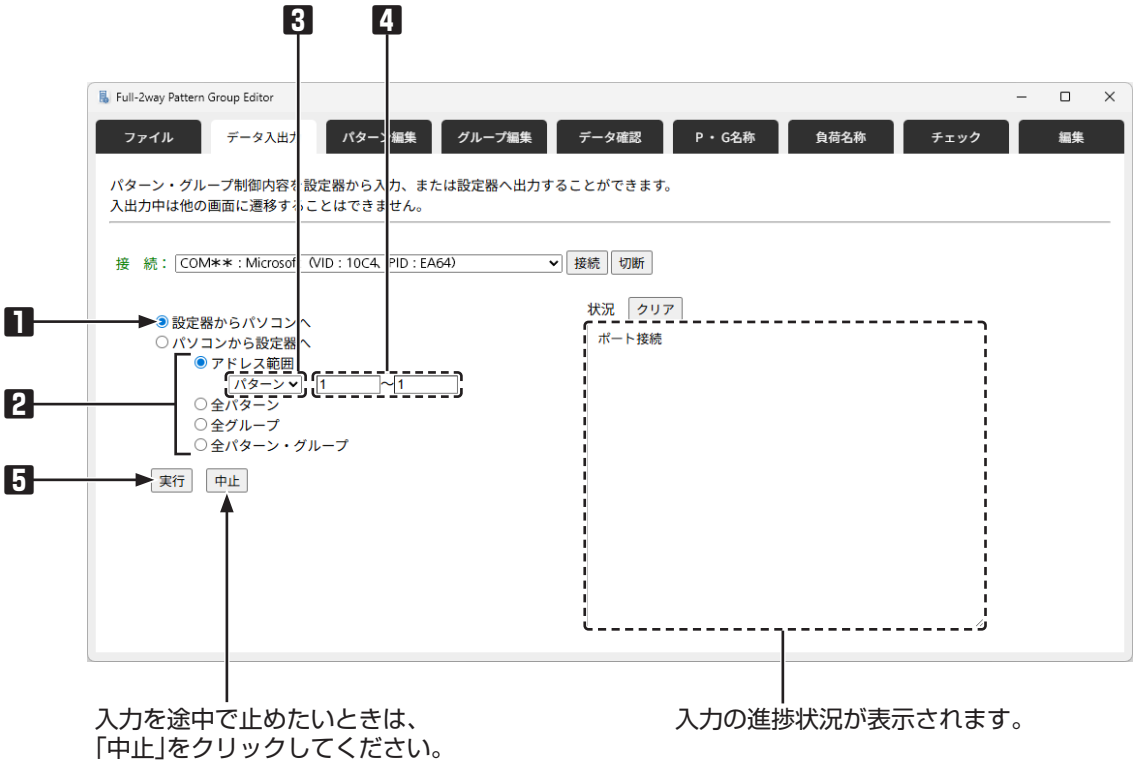


ークリックや長押しすると、入力された番号が増減します。

5 「実行」をクリックする

●選択された範囲のパターン・グループ制御内容が設定器から入力されます。

入力された内容はファイル画面で保存操作をしないとファイルに保存されません。(p12～p13参照)



データ入出力画面の操作

パソコンから設定器へ出力

本アプリのパターン・グループ制御内容を設定器へ出力します。

注 事前にパソコンと設定器を接続(p6～p7参照)し、出力する設定データをアプリで表示してください。

1 「パソコンから設定器へ」を選択する

2 出力したい制御内容の範囲を選択する

●アドレス範囲／全パターン／全グループ／全パターン・グループのいずれかを選択してください。
●アドレス範囲を選択した場合は、3に進んでください。
●全パターン／全グループ／全パターン・グループを選択した場合は、5に進んでください。

3 アドレス範囲を選択した場合は、出力したい種別を選択する

●パターン／グループのいずれかを選択してください。

4 アドレス範囲を選択した場合は、出力したい範囲(先頭パターン・グループ番号と最終パターン・グループ番号)を入力する

●入力できる番号の範囲は種別により異なります。
- パターン：1～72
- グループ：1～127

●入力ボックスを選択すると▲▼マークが表示します。

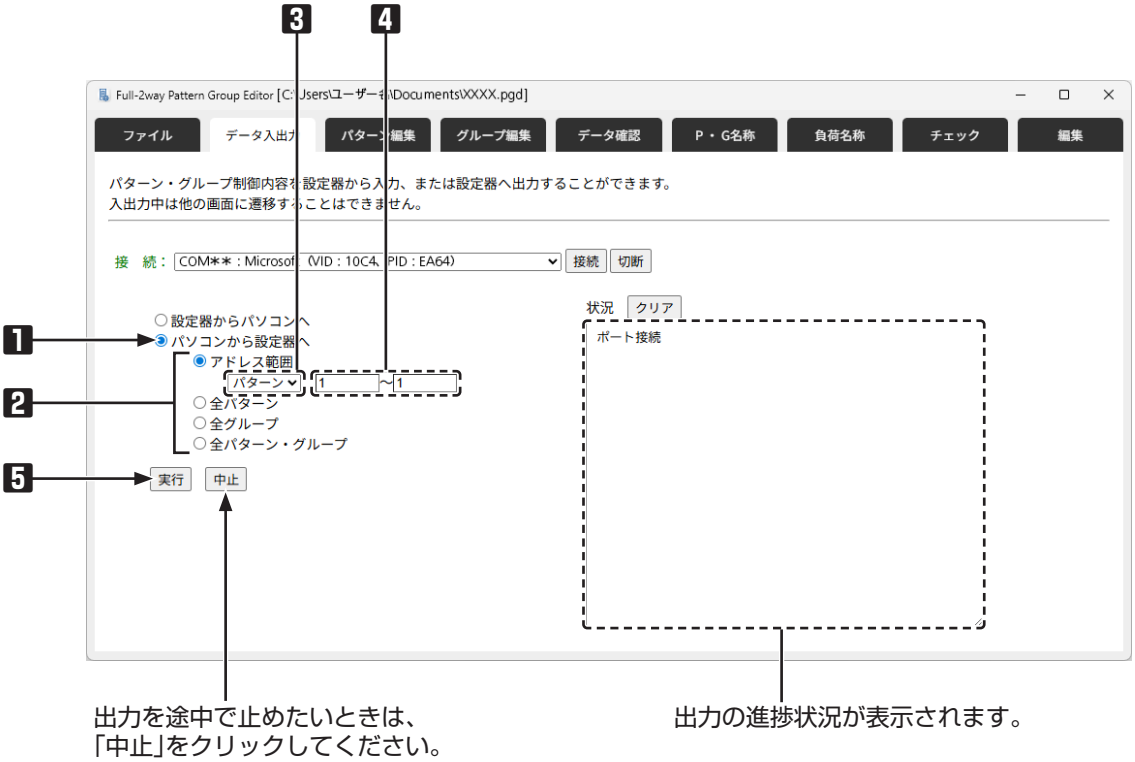


ークリックや長押しすると、入力された番号が増減します。

5 「実行」をクリックする

●選択された範囲のパターン・グループ制御内容が設定器へ出力されます。

注 ファイル画面で入力した件名名称やP・G名称画面、負荷名称画面で入力した情報は設定器に出力されません。(パソコンに保存されている.pgdファイルで管理してください。)



パターン編集画面の操作

パターン制御内容の編集

パターン制御内容を編集します。

編集した内容はファイル画面で保存操作をしないとファイルに保存されません。（p12～p13参照）

1 編集したい「パターン番号」を選択する

●選択したパターン番号のパターン制御内容が表示されます。

2 「フェード」を設定する

●なし／3秒／6秒／1分のいずれかを選択してください。

フェード設定は、伝送ユニットの設定がWRT2050系列の場合に設定可能です。

3 登録したいアドレスの「制御内容」を設定する

●対象外／OFF／ONのいずれかを選択してください。

●選択したアドレス範囲の「制御内容」を一括編集することもできます。（p18参照）

4 登録したいアドレスの「タイマー」を設定する

●なし／遅れ30秒／遅れ1分／遅れ5分／一時30秒／一時1分／一時5分／一時60分／一時120分／設定有※のいずれかを選択してください。

タイマーは、伝送ユニットの設定がWRT2050系列、WRT2000K系列の場合に設定可能です。

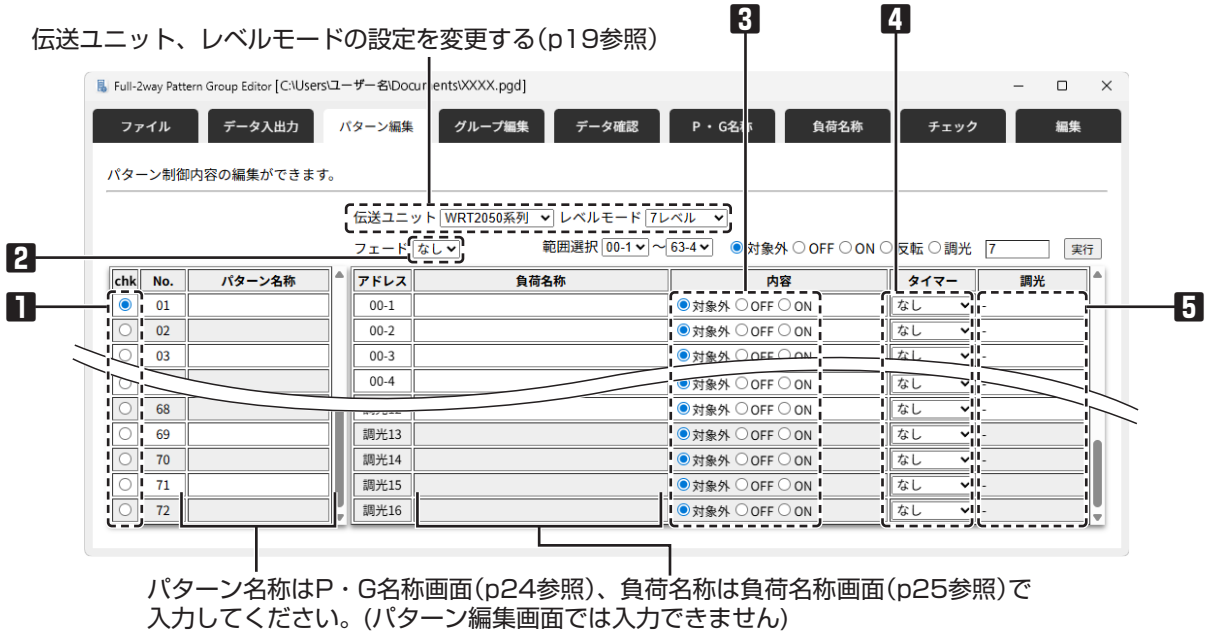
※ WRT2000K系列の伝送ユニット接続時に設定すると、すでに伝送ユニットで設定されているタイマー時間をそのまま使用します。WRT2050・WRT2040系列の伝送ユニット接続時は設定しないでください。（伝送ユニットで設定されているタイマー時間が消去されます。）

5 登録したいアドレスの「調光レベル」を入力する

●調光レベルは、設定した伝送ユニットにより、入力可否や範囲が異なります。

WRT2050系列	●すべてのアドレスに入力できます。 ●入力できる範囲はレベルモードの設定により異なります。 ・7レベル：1～7の範囲で1レベルごと　・128レベル：1～128の範囲で1レベルごと 調光01～16はレベルモードの設定に関わらず、7レベルのみ設定可能です。 ●選択したアドレス範囲の「調光レベル」を一括編集することもできます。（p18参照）
WRT2000K系列	●調光01～16のみ入力できます。（入力できる範囲は1～7の範囲で1レベルごと）
WR3212系列	●入力できません。

6 登録したいアドレス分だけ1～5を繰り返す



パターン編集画面の操作

選択したアドレス範囲の「制御内容」「調光レベル」を一括で編集する

1 一括で編集したいアドレスの範囲（先頭アドレスと最終アドレスの番号）を選択する

●00-1～63-4の範囲で選択してください。

注 調光01～16は一括編集対象外です。

2 一括で編集したい内容を選択する

●対象外／OFF／ON／反転／調光のいずれかを選択してください。
- 反転は「制御内容」のONとOFFを反転（ON→OFF、OFF→ON）します。
- 調光は「制御内容」がONの調光レベルを変更します。

注 調光は、伝送ユニットの設定がWRT2050系列の場合に選択可能です。

■調光を選択したときは

●一括で編集する調光レベルを入力してください。
●入力できる範囲はレベルモードの設定により異なります。
- 7レベル：1～7の範囲で1レベルごと　• 128レベル：1～128の範囲で1レベルごと

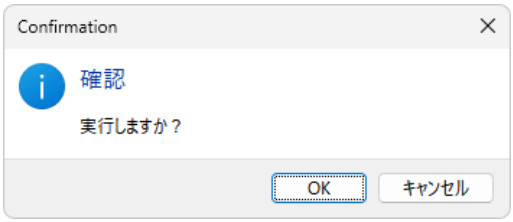
●入力ボックスを選択すると▲▼マークが表示します。

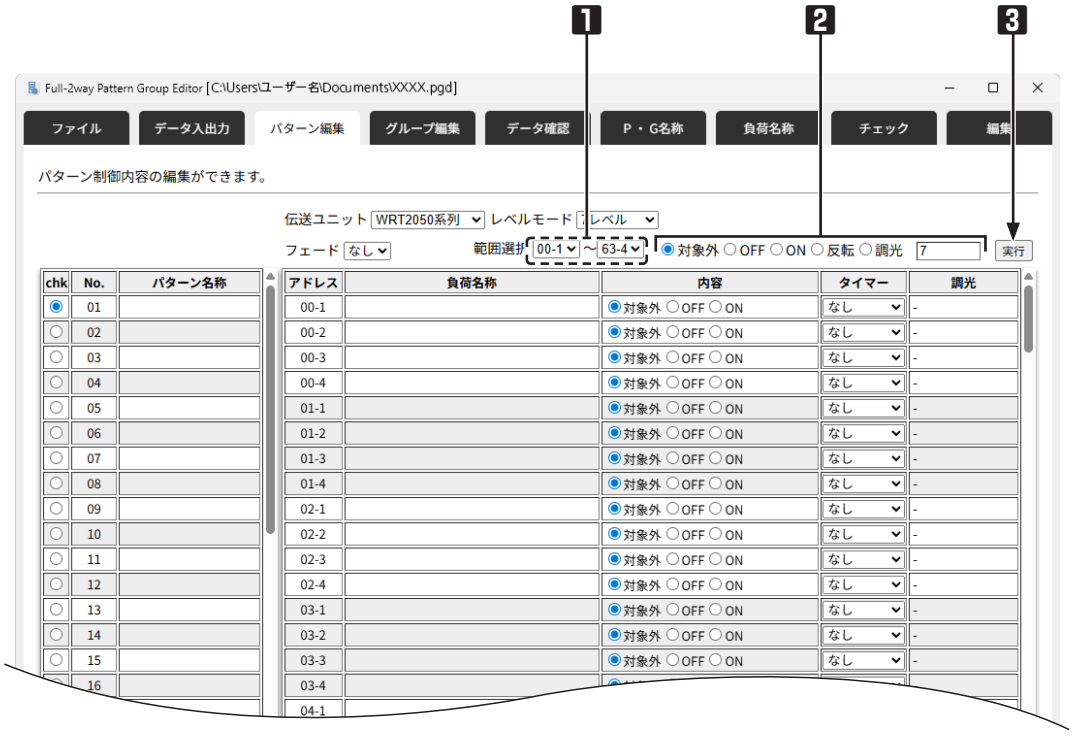


クリックや長押しすると、入力された番号が増減します。

3 「実行」をクリックする

●一括で編集してよいか、確認のポップアップが表示されます。
●「OK」をクリックすると、選択したアドレス範囲の「制御内容」または「調光レベル」が一括で変更されます。





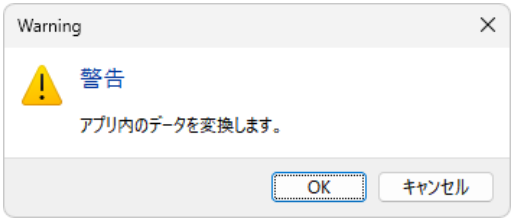
伝送ユニット、レベルモードの設定を変更する

1 変更したい「伝送ユニット」を設定する

●伝送ユニットの種類（WRT2050系列／WRT2000K系列／WR3212系列）を選択してください。

●設定を変更すると、データを変換または初期化してよいか、確認のポップアップが表示されます。
必要な場合は「キャンセル」をクリックし、保存してから再度、本操作をしてください。（p12～p13参照）

●「OK」をクリックすると、設定内容が各伝送ユニット形式へ変換または初期化されます。



2 変更したい「レベルモード」を設定する

●調光レベルの分解能（7レベル／128レベル）を選択してください。

注 **レベルモードは、伝送ユニットの設定がWRT2050系列の場合に変更可能です。**

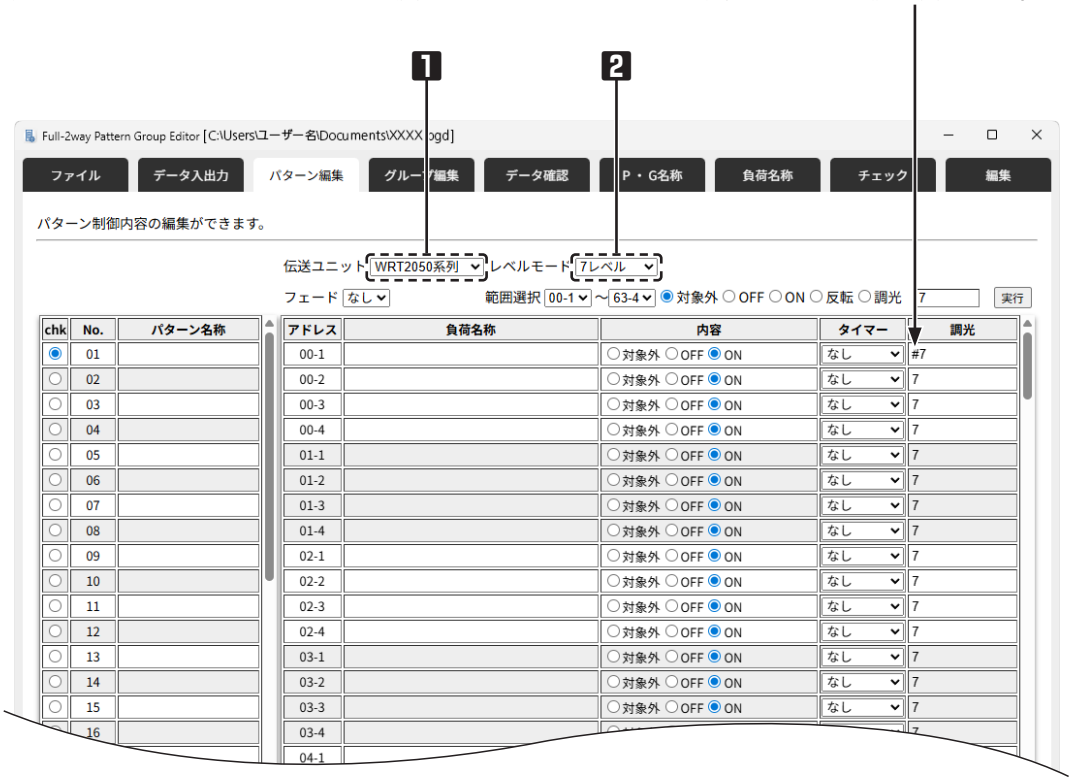
●変更すると、個別アドレス（0-1～63-4）に設定した調光レベルは、変更先のレベルモードの値に更新されます。

●調光レベル対応表

7レベルモード	128レベルモード（デフォルト値）
7	121～128（128）
6	97～120（115）
5	73～96（90）
4	49～72（65）
3	25～48（40）
2	2～24（15）
1	1（1）

デフォルト値：
7レベルモードで設定されたレベル値が128レベルモードに変更されたときに対応するレベル値

●128レベルモードでデフォルト値以外の調光レベルに変更した値は、7レベルモードにすると、値の前に#が表示されます。
（#が表示された状態で128レベルモードに戻すと、128レベルモードで変更したときの値に戻ります。）



グループ編集画面の操作

グループ制御内容の編集

グループ制御内容を編集します。

注 編集した内容はファイル画面で保存操作をしないとファイルに保存されません。(p12～p13参照)

1 編集したい「グループ番号」を選択する

●選択したグループ番号のグループ制御内容が表示されます。

2 登録したいアドレスの「制御内容」を設定する

●対象外／ONのいずれかを選択してください。
●選択したアドレス範囲の「制御内容」を一括編集することもできます。(p21参照)

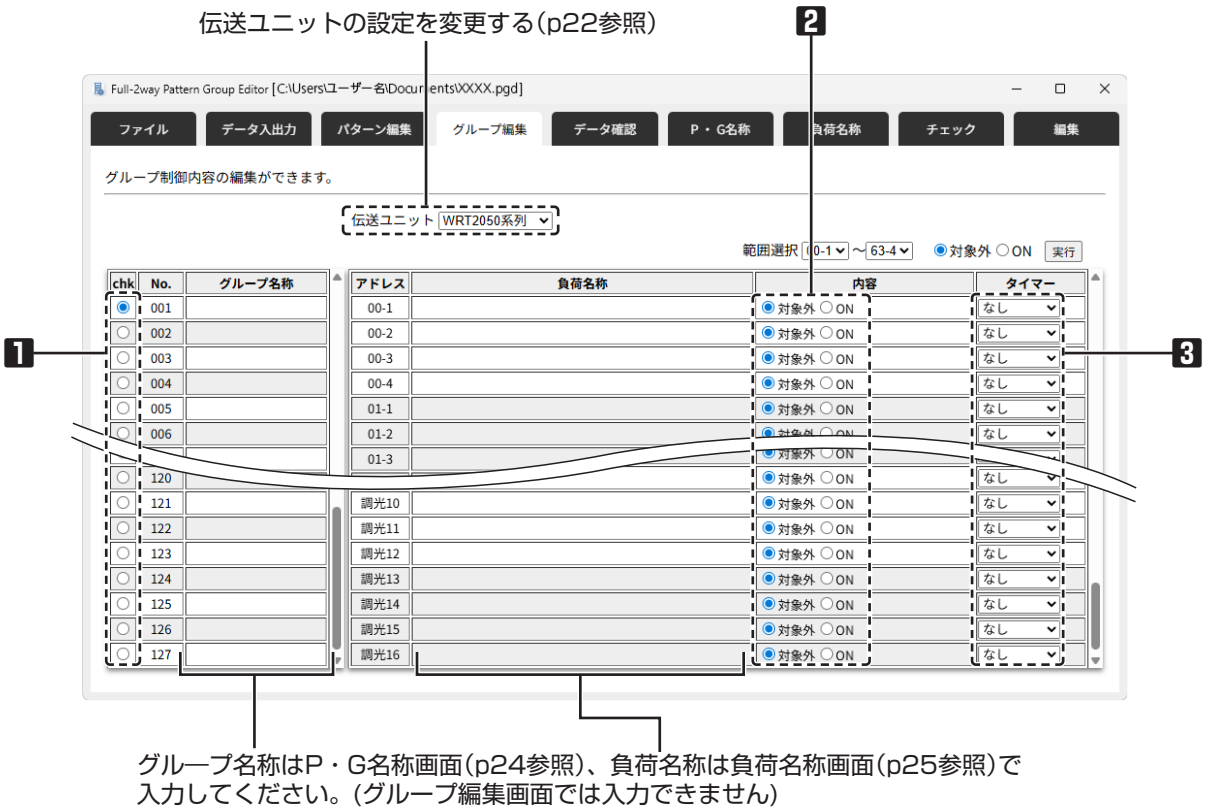
3 登録したいアドレスの「タイマー」を設定する

●なし／遅れ30秒／遅れ1分／遅れ5分／一時30秒／一時1分／一時5分／一時60分／一時120分／設定有※のいずれかを選択してください。

注 タイマーは、伝送ユニットの設定がWRT2050系列、WRT2000K系列の場合に設定可能です。

※ WRT2000K系列の伝送ユニット接続時に設定すると、すでに伝送ユニットで設定されているタイマー時間をそのまま使用します。WRT2050・WRT2040系列の伝送ユニット接続時は設定しないでください。(伝送ユニットで設定されているタイマー時間が消去されます。)

4 登録したいアドレス分だけ1～3を繰り返す



選択したアドレス範囲の「制御内容」を一括で編集する

1 一括で編集したいアドレスの範囲（先頭アドレスと最終アドレスの番号）を選択する

●00-1～63-4の範囲で選択してください。

注 調光01～16は一括編集対象外です。

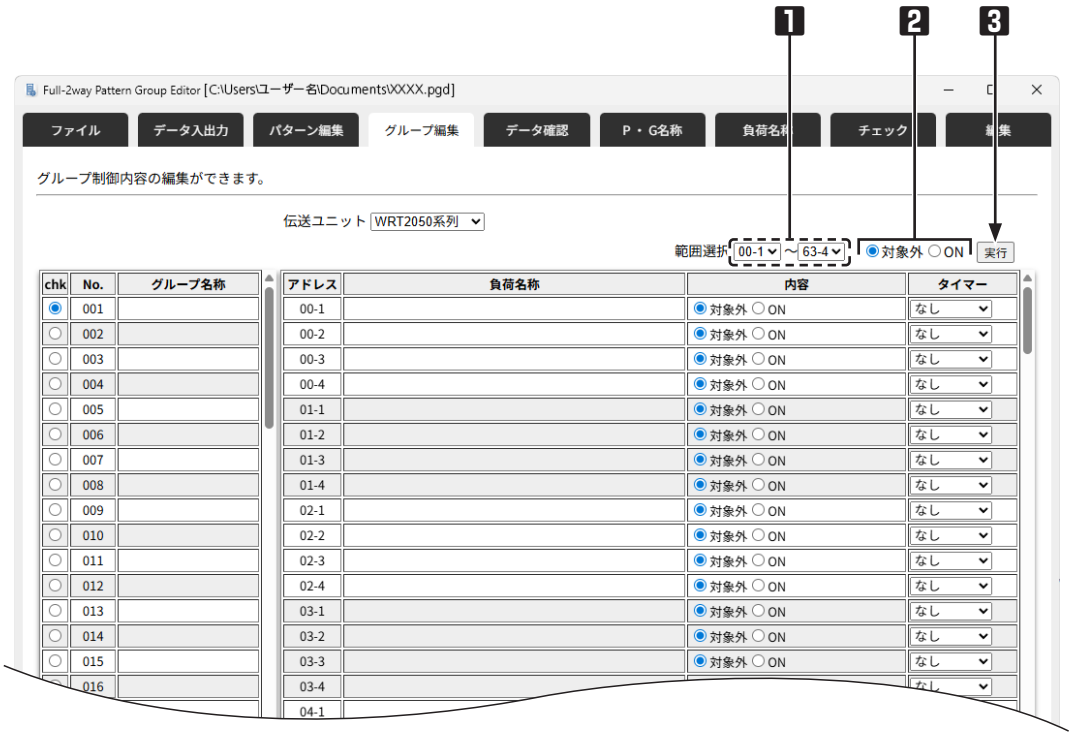
2 一括で編集したい内容を選択する

●対象外／ONのいずれかを選択してください。

3 「実行」をクリックする

●一括で編集してよいか、確認のポップアップが表示されます。
●「OK」をクリックすると、選択したアドレス範囲の「制御内容」が一括で変更されます。





グループ編集画面の操作

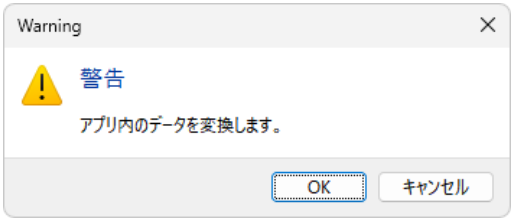
伝送ユニットの設定を変更する

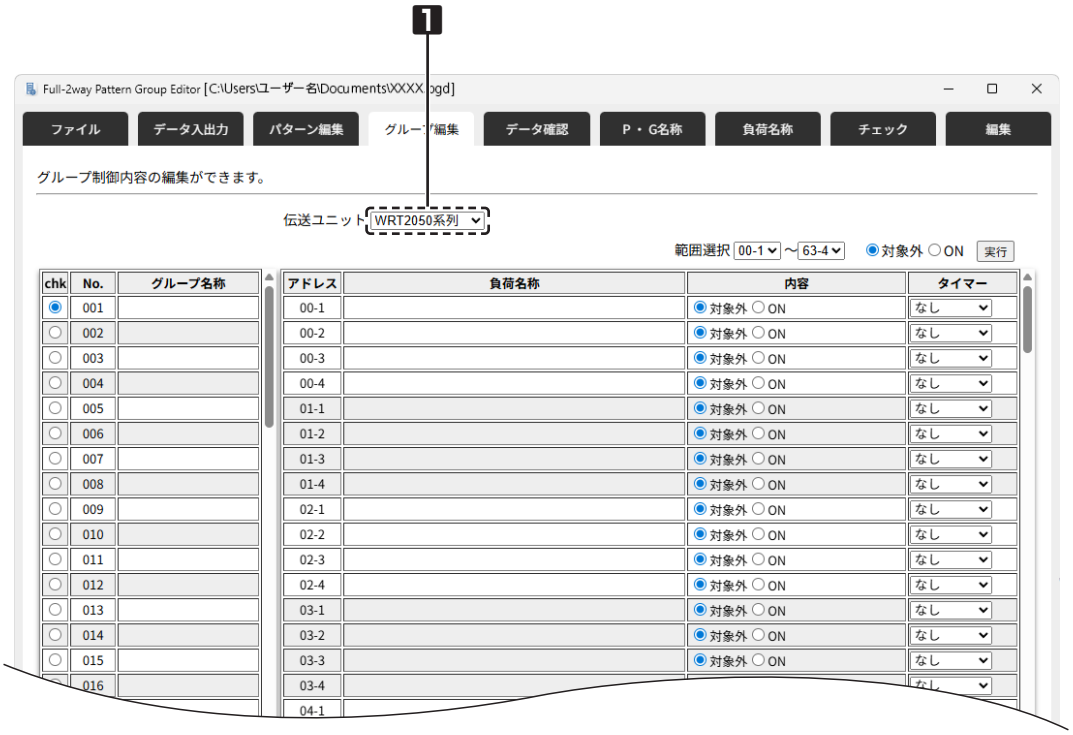
1 変更したい「伝送ユニット」を設定する

●伝送ユニットの種類（WRT2050系列／WRT2000K系列／WR3212系列）を選択してください。

●設定を変更すると、データを変換または初期化してよいか、確認のポップアップが表示されます。
必要な場合は「キャンセル」をクリックし、保存してから再度、本操作をしてください。（p12～p13参照）

●「OK」をクリックすると、設定内容が各伝送ユニット形式へ変換または初期化されます。





データ確認画面の操作

パターン・グループ制御内容の確認

パターン・グループ番号ごとの制御内容の選択状態を一覧で確認できます。

1 確認したい種別を選択する

●パターン／グループのいずれかを選択してください。

2 確認したいパターン・グループ番号を入力する

●入力できる番号の範囲は種別により異なります。
- パターン：1～72
- グループ：1～127

●入力ボックスを選択すると▲▼マークが表示します。



▲▼マークをクリックや長押しすると、入力された番号が増減します。

3 各アドレスの制御内容の選択状態を確認する

●パターンの場合
- T：タイマー　• ○：ON
- ×：OFF　• ー：対象外

●グループの場合
- T：タイマー　• ○：ON
- ー：対象外



P・G名称画面の操作

パターン・グループ制御内容の名称入力

パターン・グループ番号ごとに名称を入力できます。

●以下の半角記号は入力できません。
/ : * ? " > < | ¥ ,

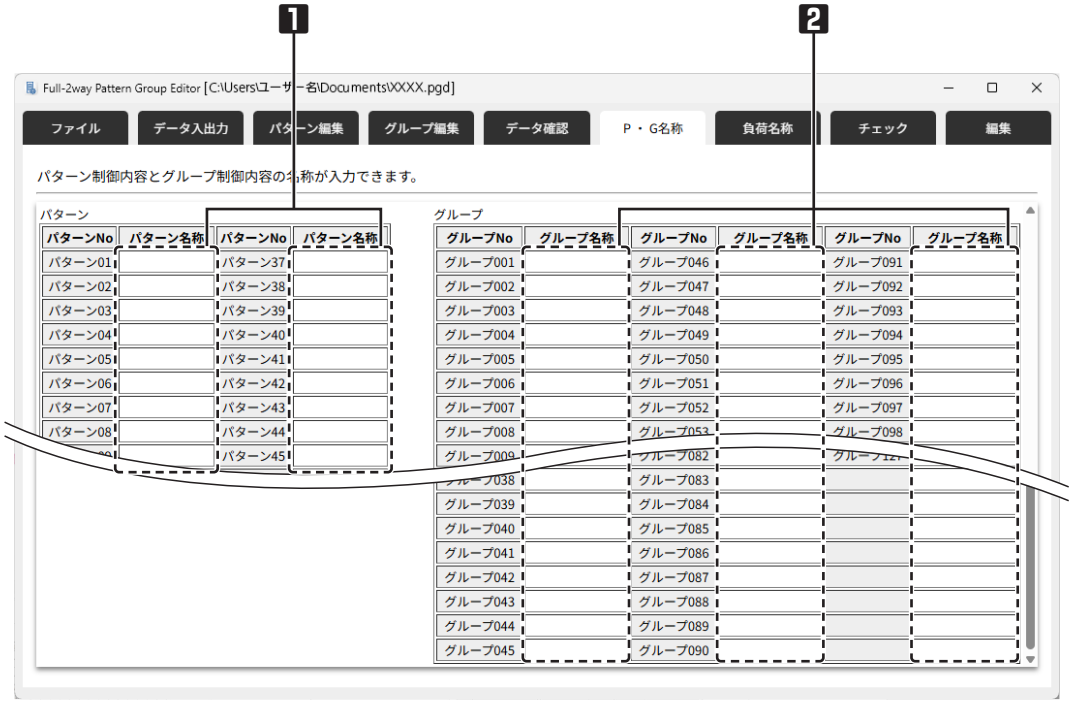
●編集した内容はファイル画面で保存操作をしないとファイルに保存されません。(p12～p13参照)

1 「パターン名称」を入力する

●パターン名称を入力してください。(最大20文字まで)

2 「グループ名称」を入力する

●グループ名称を入力してください。(最大20文字まで)



負荷名称画面の操作

各種名称の編集

アドレスごとに盤名称、負荷名称、ブレーカ番号、リレー番号、備考を入力できます。

●以下の半角記号は入力できません。
/ : * ? " > < | ¥ ,

●編集した内容はファイル画面で保存操作をしないとファイルに保存されません。(p12～p13参照)

1 「盤名称」を入力する

●アドレスの端末器が設置されている盤の名称を入力してください。(最大20文字まで)

2 「負荷名称」を入力する

●アドレスの名称を入力してください。(最大20文字まで)

3 「ブレーカ番号」を入力する

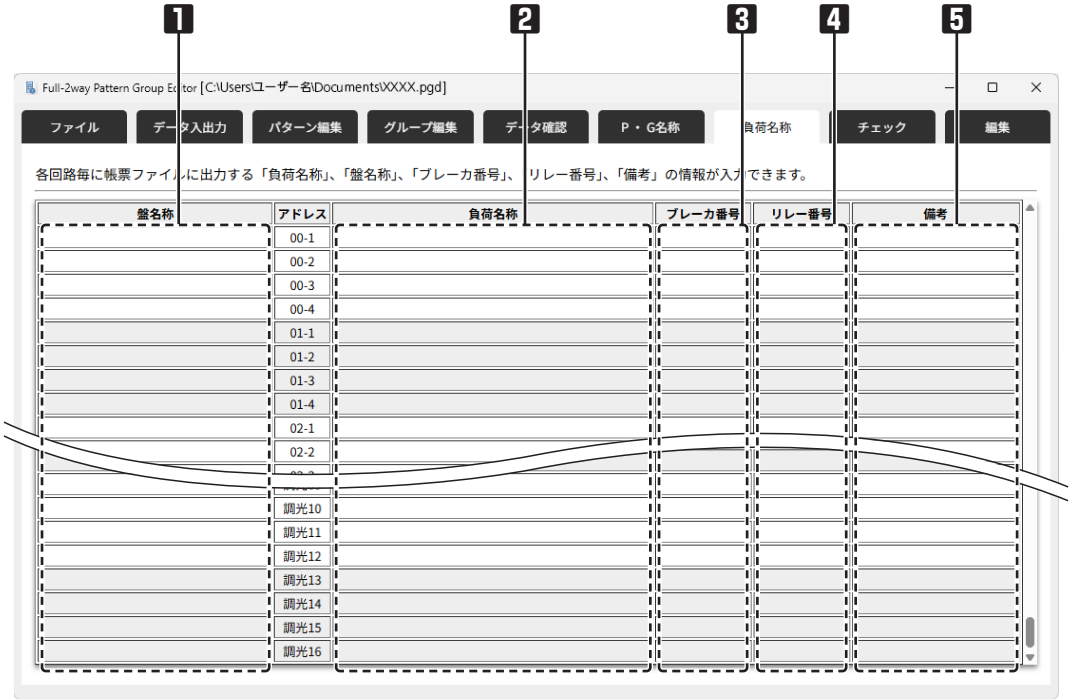
●アドレスの端末器が接続されているブレーカの番号を入力してください。(最大6文字まで)

4 「リレー番号」を入力する

●アドレス端末器に接続されているリレーの番号を入力してください。(最大6文字まで)

5 「備考」を入力する

●任意の内容を入力してください。(最大20文字まで)



チェック画面の操作

端末登録P・G表示

端末器がどのパターン・グループ番号に登録されているかを一覧で確認できます。

1 「端末登録P・G表示」を選択する

2 確認したい端末の種別を選択する

●個別／調光のいずれかを選択してください。

注 調光は、伝送ユニットの設定がWRT2050系列、WRT2000K系列の場合に選択可能です。

3 確認したい端末のアドレスを入力する

●入力できるアドレスの範囲は種別により異なります。
- 個別：0-1～63-4
- 調光：1～16

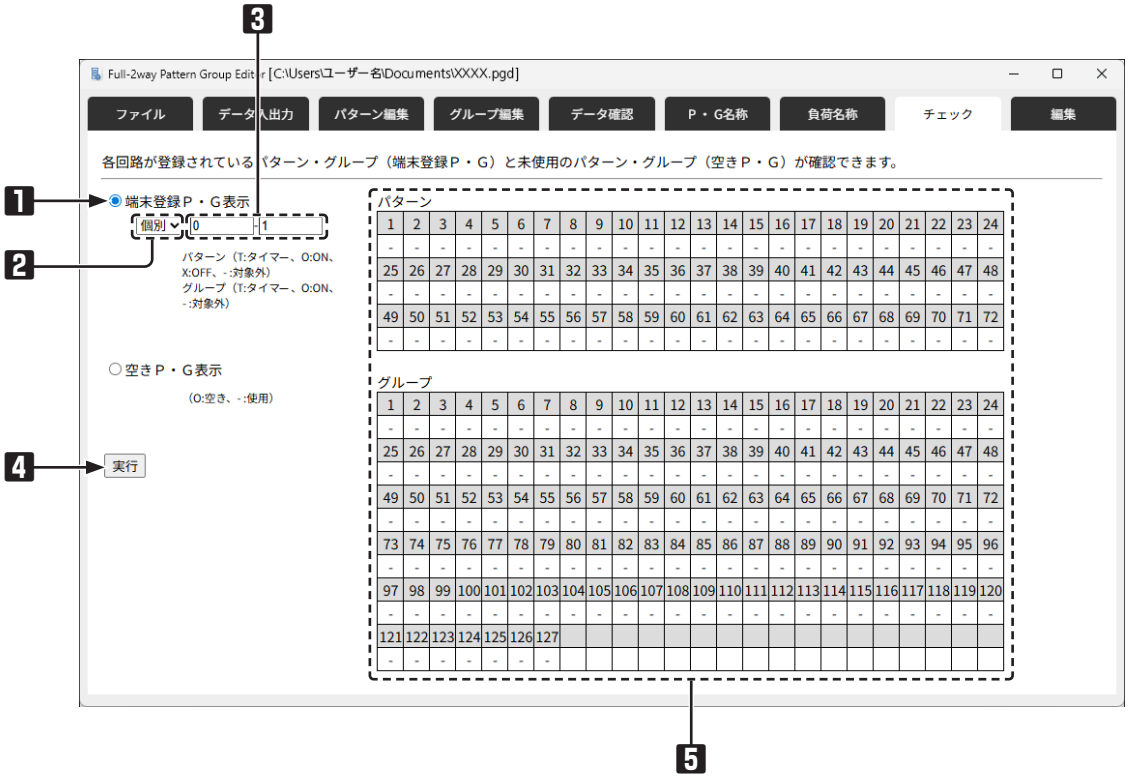
4 「実行」をクリックする

●選択した端末が登録されているパターンおよびグループ番号が表示されます。

5 パターン・グループ番号の端末器の登録状態を確認する

●パターンの場合
- T：タイマー　・O：ON
- X：OFF　　・ー：対象外

●グループの場合
- T：タイマー　・O：ON
- ー：対象外



空きP・G表示

使用していないパターン・グループ番号を一覧で確認できます。

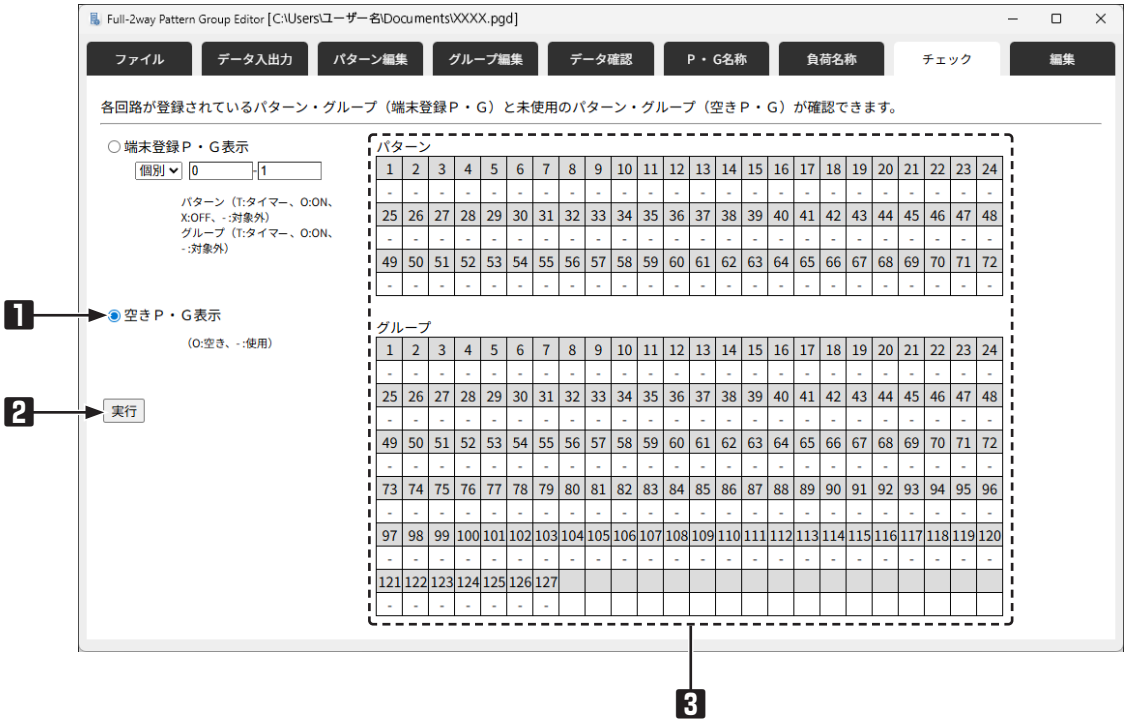
1 「空きP・G表示」を選択する

2 「実行」をクリックする

●使用していないパターンおよびグループ番号が表示されます。

3 パターン・グループ番号の使用状態を確認する

・O：空き
・ー：使用



編集画面の操作

コピー

パターン・グループ制御内容をほかのパターン・グループにコピーできます。

注 編集した内容はファイル画面で保存操作をしないとファイルに保存されません。（p12～p13参照）

1 「コピー」を選択する

2 コピーしたい種別を選択する

●パターン／グループのいずれかを選択してください。

3 コピー元とコピー先のパターン・グループ番号を入力する

●入力できる番号の範囲は種別により異なります。
- パターン：1～72
- グループ：1～127

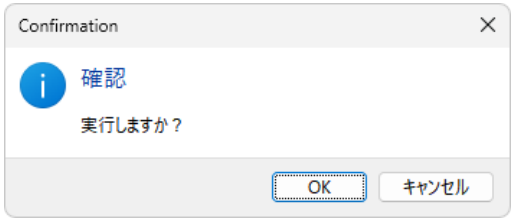
●入力ボックスを選択すると▲▼マークが表示します。

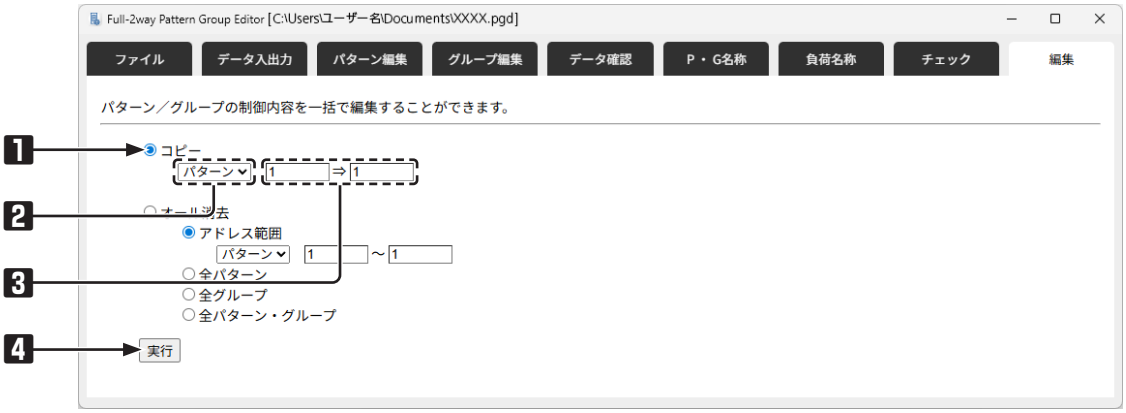


ークリックや長押しすると、入力された番号が増減します。

4 「実行」をクリックする

●コピーしてよいか、確認のポップアップが表示されます。
●「OK」をクリックすると、コピー元の制御内容がコピー先に反映され、完了を知らせるポップアップが表示されます。





オール消去

消去する範囲を選択し、その制御内容をまとめて消去できます。

注 編集した内容はファイル画面で保存操作をしないとファイルに保存されません。(p12～p13参照)

1 「オール消去」を選択する

2 消去したい範囲を選択する

●アドレス範囲／全パターン／全グループ／全パターン・グループのいずれかを選択してください。
●アドレス範囲を選択した場合は、3に進んでください。
●全パターン／全グループ／全パターン・グループを選択した場合は、5に進んでください。

3 アドレス範囲を選択した場合は、消去したい種別を選択する

●パターン／グループのいずれかを選択してください。

4 アドレス範囲を選択した場合は、消去したい範囲(先頭パターン・グループ番号と最終パターン・グループ番号)を入力する

●入力できる範囲は種別により異なります。
- パターン：1～72
- グループ：1～127

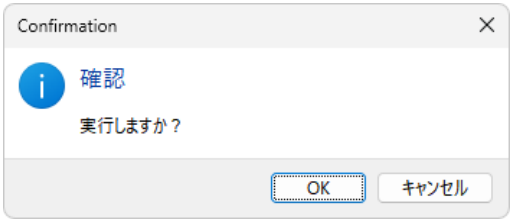
●入力ボックスを選択すると▲▼マークが表示します。



ークリックや長押しすると、入力された番号が増減します。

5 「実行」をクリックする

●消去してよいか、確認のポップアップが表示されます。
●「OK」をクリックすると、選択した範囲のパターン・グループ制御内容が一括で消去(すべてのアドレスを対象外に)され、完了を知らせるポップアップが表示されます。





商標について

■Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

■Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。

パナソニック エレクトリックワークス株式会社
〒571-8686 大阪府門真市門真1048
電設資材商品ご相談窓口 個人のお客様 0120-878-082 法人のお客様 0120-187-431 FAX 0120-872-460

© Panasonic Electric Works Co., Ltd. 2026

8A4 C46 00001
0126-0AB